

CAのアイデアから生まれた「Fire Resistant Bag」

耐火袋 + 消火フィルムで安心の機内環境に！



近年、スマートフォンやタブレット、ノートパソコンなどリチウムイオンバッテリーが内蔵された電子機器の機内への持ち込みが増加しており、リチウムイオンバッテリーの経年劣化や品質不良などによる発火・発煙が国際的に報告されています。この状況を踏まえANA客室乗務員の現場の声を受けて企画・開発された「Fire Resistant Bag」が誕生しました。

～Fire Resistant Bagはこうして誕生しました～

現場の声

「リチウムイオンバッテリーに起因して電子機器が破裂時にも乗客・乗員を守るためのツールがあれば安心する」

乗務員による規格・開発

「異常発熱した電子機器を一時的に安全に退避させる耐熱袋と初期消火に効果的な消火フィルムを組み合わせることで、異常発熱や変形などの兆候が現れた電子機器に迅速かつ安全に対処できる設計となっており、延焼を防ぐことができる製品として規格・開発」

世界初の組み合わせ



CAのアイデアが生んだ世界初の組み合わせ

独自の構造

菊地シート「耐火袋」とTOPPAN「消火フィルム」を組み合わせたANA独自の構造はこれまでにないものであり、Fire resistant bagは世界初のアイテムです。

菊地シートの「耐火バッグ」で異常発熱や変形などの兆候が現れた電子機器に迅速かつ安全に対処、さらに一時的に延焼を防ぎます

TOPPANの「消火フィルム」を耐火袋内部に挿入することで、高熱や発火に迅速に対応し、火の勢いを効果的に抑制します

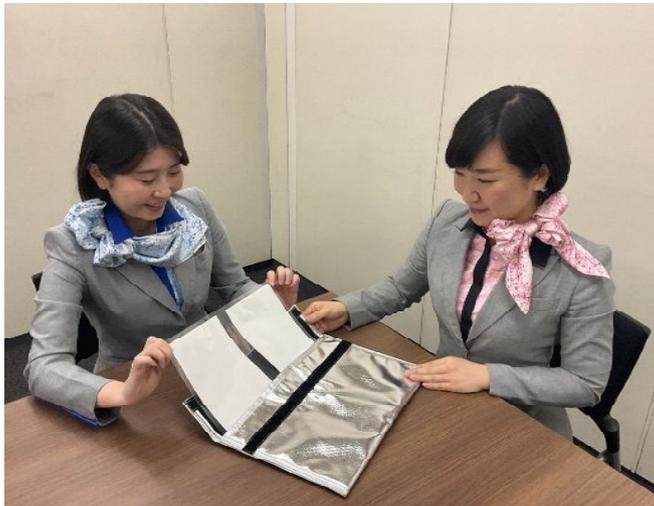
ANAグループ、菊地シート、TOPPANは今後も、安全性を最優先に考え、最新技術を活用した取り組みを推進してまいります。



機材への搭載を考慮し、軽量かつコンパクトな設計

3社で共同開発した「Fire resistant bag」をANA機材に導入！

※ANA、Air Japan (AirJapan ブランド含)、ANA ウイングスが運航するすべての機材



	<p>ANAホールディングス株式会社はCAのアイデアを形にし、今回の商品を誕生させるきっかけとなった。バラバラに販売されていた、耐熱袋と消火フィルムを組み合わせるという画期的なアイデアで世界初の商品を生み出した。</p>
	<p>菊地シート工業株式会社は様々なシートを組み合わせる事で、お客様の困りごとを解決する商品を生み出してきた。機内で万が一リチウム電池搭載の機器が異常を起こした際の保管用袋を耐熱シート組み合わせで製作した。</p>
	<p>TOPPAN株式会社は近年増加している「発火リスク」ともなう被害を抑制したいという思いから、火災発生時の熱に反応し、消火効果のあるエアロゾルを放出する消火フィルムを開発した。</p>



お問合せ先：
 全日空商事 ライフスタイル事業部 email
ml_notice_fireresistantbag@anac.com

加工：
 〒538-0042 大阪市鶴見区今津中3-7-34
 菊地シート工業株式会社